



演説
憲政ニ於ケル輿論ノ勢力

侯爵大隈重信閣下

レコード番号ニハ六六六ハハ

28685

(Printed in Japan)

Columbia

演説
憲政ニ於ケル
輿論ノ勢力

侯爵大隈重信閣下

レコード番号ニハ六六六ハハ

カ1 3764 1-3

カ1 4198

トーコレ賓至
組一枚三盤赤

ドーコレアビムコ

This is a
Columbia
Viva-tonal RECORD

アビムロコ
針音音器

アビムロコ
用音器

コロンビア
ヴァイヴァートナル
レコード

28685

28685

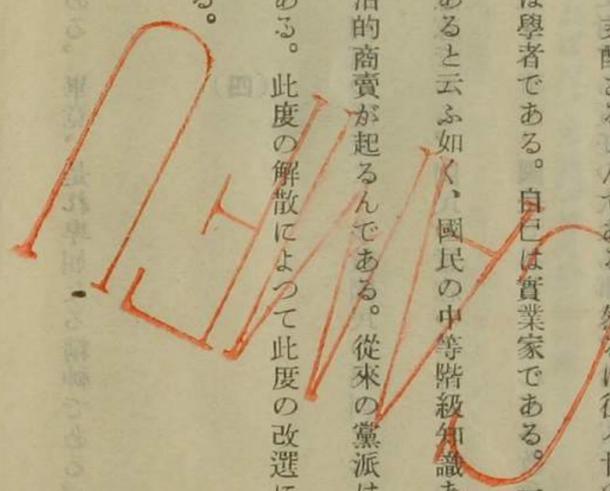
28685

Viva-tonal Columbia Grafonola

Viva-tonal Columbia Grafonola

Viva-tonal Columbia Grafonola

ゑんである。國家的勢力は、何によつて導かるゝかと云ふと、即ち輿論である。此輿論の勢力が、議會に集中されて、始めて帝國議會の威嚴、帝國議會の信用が茲に成立つんであるのである。斯の如き憲政は、輿論によつて導かるゝものである。而して輿論其ものは、知識ある階級によつて支配さるゝんである。然るに往々世の俗人は過つてだ、政治は俗なるものである。自己は學者である。自己は實業家である。一は宗教家である。一は何等職業を持つて居るのであると云ふ如く、國民の中等階級知識ある階級が政治から退けば、到頭劣悪なる一種の政治的商賣が起るんである。從來の黨派は、往々其弊に今陥りつゝあるのを遺憾とするんである。此度の解散によつて此度の改選によつて、國民は稍々自覺を始めた事を喜ぶんである。



演説 憲政ニ於ケル輿論ノ勢力



侯爵 故大隈重信閣下

(五)

社會學上より觀察致しますると、社會の統制力の最も大なるものは法制禁令、法制禁令は社會の表面に現れたる、行爲を支配するものである。其の精神界に働く所の統制力は、宗教に於て、或は學者の議論に於て、殊に著しく統制力の盛んなるものは、新聞に於て現はるゝんである。斯くの如き統制力がだ、政治上にも、社會上にも、風俗の上にも、大な

る力を持つと信じますのである。精神が麻痺するとだ、悪を惡とせず、遂に廉恥の風が段々衰へると云ふ事を惧るゝのである。是に於て官吏も過が多いのである。議會も過が多いのである。社會も亦過つのである。之れは社會の統制力の薄弱なる證據である。吾輩の内閣組織以來、昨年五月に發表した所の政綱の一つに、先づ人を治めんとする者は、自ら始めなくてはならぬ。是に於て、官吏の嚴肅なる規律を論じたのである。是に於て廉恥の風と云ふ文字を表はしたのである。廉恥の風が社會を統制するに、非常な大なる威嚴を持つたのである。此威嚴がなくなれば、此道德の制裁がなくなるのである。法律はだ、三百代言的に行けはだ、どうかすると法律は免るゝ事も出来るか知れん。然し乍ら、社會の制裁は之を許さぬのである。社會の制裁が之を許せば、民免れて恥なしと云ふ有様に落ち行きせざる。社會は墮落する。社會が墮落すれば、政治も凡て國家の進運は茲で止まるのである。甚だ恐るべき危機に臨んで居るのである。然るに此忠良なる、啓發なる國民はだ、

議會の大權に遭遇して、國民の愛國心が勃興して、而して靜かに顧みて、現在の政治の狀態を満足しないと云ふ状態は起つたのである。其時に、此選舉が現れたのである。

(六)

今、世界の強大なる獨逸と、英國、佛蘭西、露西亞と聯合して、今方に戦ひつゝあるのである。帝國の地位は世界に大なる今變化を爲しつゝあるのである。帝國の地位は疑ひなく、世界の最も進んだ文明國と共同の地位に達せんとしつゝ在るのである。斯の如き時に於て、些々たる國內の外交、財政、或は國防其他の政治上に於て、黨派的觀察を以て争ふとは何事ぞ。斯の如き者に向つては自ら輿論の大なる勢力は之を破ると云ふ必要に逼つて居るのである。又凡て今日までの黨派の弊はだ、如何に強辯せんとしても、覆ふ

可からざる弊は到る處に存在して居るのである。是が此選挙に臨んで國民の覺醒を促す所以である。茲に於て輿論の大なる勢力が、茲へ現はるゝことを望むのである。國民が自覺して自己の貴重なる國家に對する義務を、充分に自覺すれば、此選挙の効は、實に大なりと信じますのである。此の如き日本は過渡期に立つてをるのである。日本帝國の地位は、此一步を誤れば、國の運命、國の安危榮辱のかゝる、大切なる時機であると云ふ事は、國民も大に自覺したと私は信するのである。是に於てだ、愈々此輿論の勢力の大なる事を私は認むるのであります。此輿論の勢力がだ、帝國の將來の運命を支配すると思ひますのである。